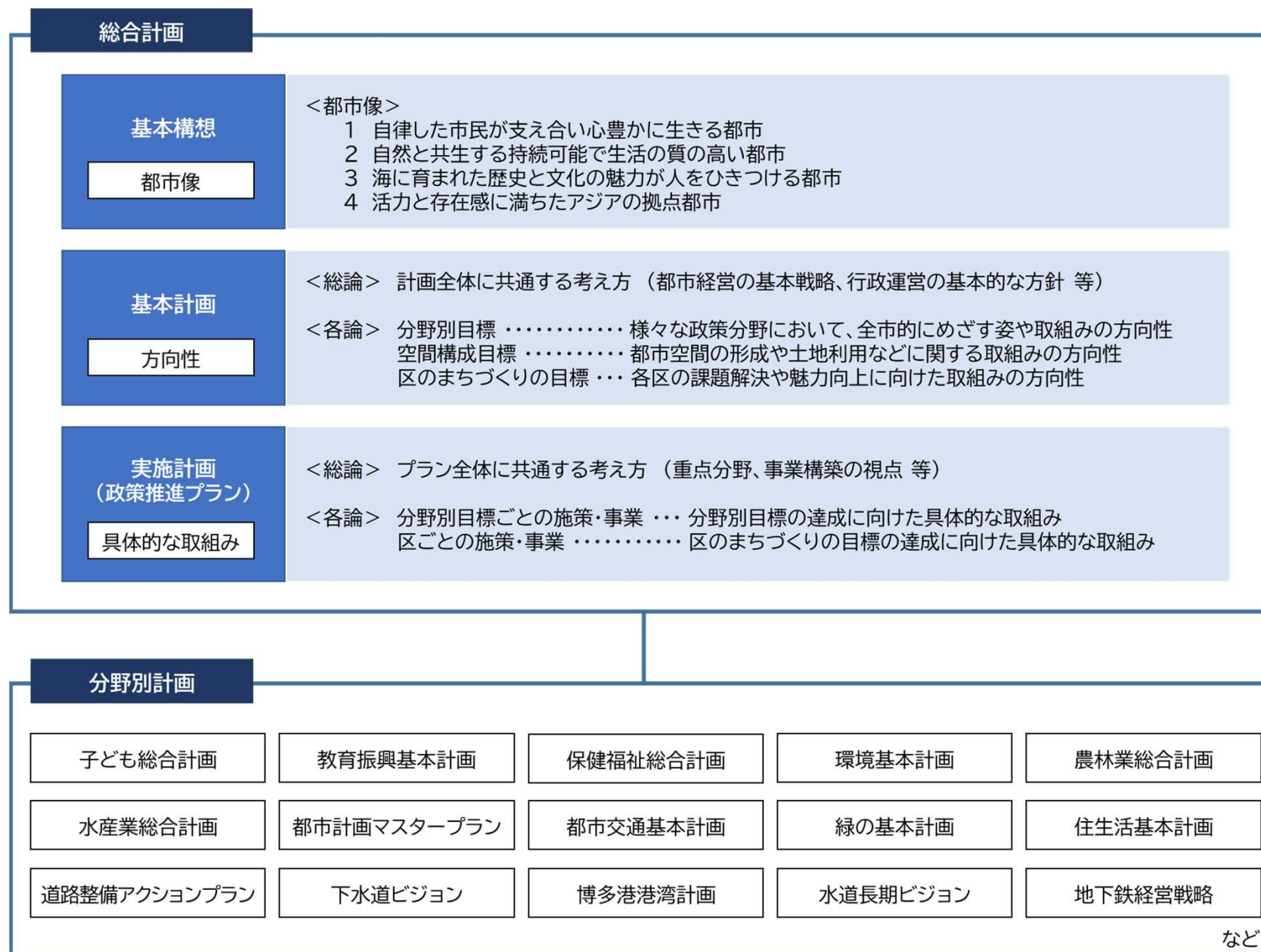


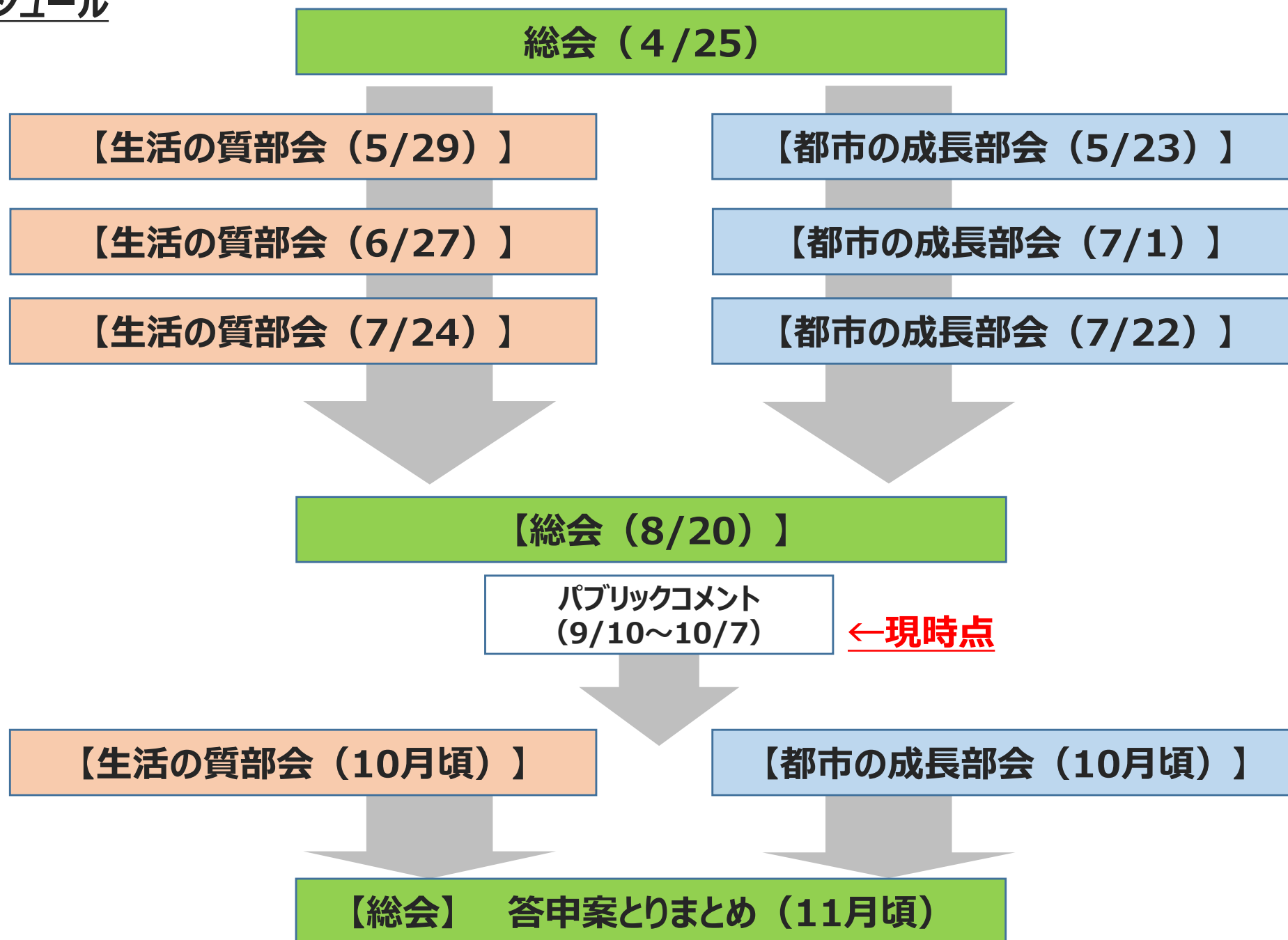
(情報共有)
福岡市総合計画の検討状況

令和 6 年 9 月 17 日
総務企画局企画調整部

第10次福岡市基本計画策定のため、今年度生活の質部会、都市の成長部会の2つの審議会を開催し、策定に向けた検討を進めている。



スケジュール



■ 基本構想の都市像と基本計画の分野別目標

基本構想 都市像	基本計画 分野別目標	
● 自律した市民が支え合い心豊かに生きる都市 ● 自然と共生する持続可能で生活の質の高い都市	目標1	一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている
	目標2	すべての子ども・若者が夢を描きながら健やかに成長している
	目標3	地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らしている
	目標4	人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられる
● 海に育まれた歴史と文化の魅力が人をひきつける都市 ● 活力と存在感に満ちたアジアの拠点都市	目標5	磨かれた魅力に人々が集い、活力に満ちている
	目標6	都市機能が充実し、多くの人や企業から選ばれている
	目標7	チャレンジ精神と新たな価値の創造により、地域経済が活性化している
	目標8	アジアのモデル都市として世界とつながり、国際的な存在感がある

←UDについては、
8つある分野別目標のうち、
主に目標1に位置づけて検討中

■目標 1 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている

(1) めざす姿

- 年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人の人権が尊重され、市民一人ひとりが互いに多様性を認め合うことで、誰もが自分らしく輝いています。
- 市民一人ひとりが、それぞれの知識や経験を生かし、社会の担い手、支え手として意欲的に社会参加するとともに、文化芸術やスポーツ、自然などを身近に感じ、気軽に楽しみながら、健やかで心豊かに充実した生活を送っています。
- 支援を必要とする市民が適切な福祉・介護等のサービスを受け、誰もが安心して、快適に暮らしています。

(2) 市民意識 ※成果指標

「誰もが自分らしく、心豊かに暮らせるまちづくり」が進んでいると思う市民の割合

「誰もが自分らしく、心豊かに暮らせるまちづくり」が進んでいると思う市民の割合

そう思う （「どちらかと言えばそう思う」を含む）	%
そう思わない （「どちらかと言えばそう思わない」を含む）	%
わからない（空欄を含む）	%

（2024 年度調査）

■目標 1 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている

(3) 現状と課題

- ①福岡市には、国内外から多様な人々が集まり、ともに生活しています。年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが自由に快適に生活できるよう、互いに思いやりをもち、ハード・ソフトの両面からすべての人にやさしいまちを実現する必要があります。
- ②少子高齢化が進展し、社会の担い手、支え手が不足する一方、健康で社会参加に意欲的な高齢者は増えています。健康寿命の延伸に加え、誰もが文化芸術やスポーツなどを楽しみ生涯にわたって生きがいを感じることができるような社会づくりが求められています。
- ③単身高齢者や要介護認定者、障がいのある方など、支援を必要とする市民が増加していく中で、本人やケアする人の多様なニーズに応じた福祉・介護等のサービスの充実が求められています。

■目標 1 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている

(4) 施策

1-1 多様な市民が輝くユニバーサル都市・福岡の推進

誰もが思いやりをもち、年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人にやさしいまちの実現を目指し、インクルーシブなまちづくり、人権教育・啓発、女性の活躍や多文化共生の推進などに取り組みます。

1-2 一人ひとりが健やかで心豊かに暮らせる社会づくり

市民一人ひとりが、本人の意思や個性に応じて、仕事や文化芸術、スポーツなど、様々な分野で生きがいを持ち、健やかで心豊かに暮らすことができる環境づくりを進めます。

1-3 すべての人が安心して暮らせる福祉の充実

年齢や障がいの有無などに関わらず、住み慣れた家庭や地域で安心して自分らしく暮らし続けることができるよう、福祉・介護等のサービスを継続的に提供できる体制の構築を進めます。

→ **施策 1 - 1 を軸に今後具体的な事業や取組みを検討**